

～令和10年4月の開校に向けて、整備を進めてまいります～



かえで義務教育学校 開校だより

第5号

発行日

令和8年6月1日

発行元(事務局)

佐野市教育委員会

学校適正配置課

かえで義務教育学校 校章

○開校準備委員会で校章が決定されましたので、お知らせいたします。



◇制作者

「亀田直美」氏(佐野市立西中学校教諭)

◇コンセプト

- ・5つの学校が一緒になることから五角形をベースに発想している。
- ・五角形は、調和やバランスを象徴する図形として知られている。また、完成された形とされ、幸運を呼び込む縁起の良い図形とされている。合格祈願や成功を願う際、五角形が用いられているのもそのためである。安全を意味する形としても用いられている。
- ・かえでの葉と花は、五角形をベースにデザインしている。
- ・かえでの花言葉には、「大切な思い出」、「美しい変化」という意味がある。この花言葉のように、今までの思い出を大切に、児童生徒たちが未来に向かって、たくさんの美しい花を咲かせるようにして、「かえで義務教育学校」が発展していくことに願いを込めてかえでの花を表現した。

お知らせ

開校だよりは、
市HPにも掲載しています。



市ホームページ
二次元コード

問い合わせ先

佐野市立かえで義務教育学校開校準備委員会 事務局
(佐野市教育委員会 教育部 学校適正配置課)

Tel: 0283-85-7304

Mail: gakkoutekisei@city.sano.lg.jp

※裏面もご覧ください。

かえで義務教育学校 校歌

○開校準備委員会で校歌が決定されましたので、お知らせいたします。

佐野市立かえで義務教育学校 校歌

作詞 佐野市立かえで義務教育学校
開校準備委員会

作曲 須藤 浩之

一、かえでの木々に 光がさして
新たな一日 始まり告げる
夢と希望が 翼になって
想いをはこぶ 果てなき空へ

二、学びがつなぐ 過去と未来
声をかけあい 絆深まる
強さと優しさ 磨きあつて
笑顔がつどう かえでの学び舎

三、窓からのぞむ 佐野のまち
かえでが彩る 幾多の季節
九年の時を 過ごしたあとも
ここはいつでも 心のふるさと

かえで義務教育学校

《作詞者》

「佐野市立かえで義務教育学校 開校準備委員会」

《作詞の経緯》

- ・公募で集まった歌詞やフレーズを基に西中学校区の教職員で歌詞(案)を作成。
- ・総務部会、開校準備委員会で協議、検討した経過から、作詞者を「佐野市立かえで義務教育学校開校準備委員会」と設定することが決定。

《作曲者》

「須藤 浩之」氏 (音楽教育推進協議会 関東甲信越支部 常任理事)

《主な経歴》

- ・栃木県公立中学校校長等歴任
- ・栃木県教育委員会事務局義務教育課指導主事(音楽科担当) など

《作曲者の想い》

歌詞を拝見し、現代的で、児童生徒たちにも理解しやすく、とても親しみやすいと同時に、生き生きとした日々の学校生活の情景が目につく優れた歌詞だと感じました。

私が、日頃から目にする地域(西中学校区)の児童生徒たちは、明るくさわやかで心優しい印象でしたので、作曲にあたっては、子どもたちから受けたそれらの印象を生かし、明るく、さわやかで、優しい感じのメロディーをまずイメージしました。しかし、ただ優しく親しみやすいだけではなく、頑張るべき時には、しっかりと頑張れる力強さも併せもつ西中学校区の子どもたち同様、力強さを感じられる部分も盛り込むよう努めました。

義務教育学校ですから1年生から9年生まで、ずっと歌い続ける校歌です。1年生にも歌いやすく、それでいて、9年生でも歌いがいのあるメロディーとなることを目指しました。子どもたちが儀式的の場面に限らず、日頃から親しんで口ずさんでもらえることを願っています。